



ENEOS

ENEOSについて

ENEOSホールディングス株式会社 中央技術研究所 技術戦略室

ENEOSホールディングス株式会社

「今日のあたり前」を支え、 「明日のあたり前」をリードする。

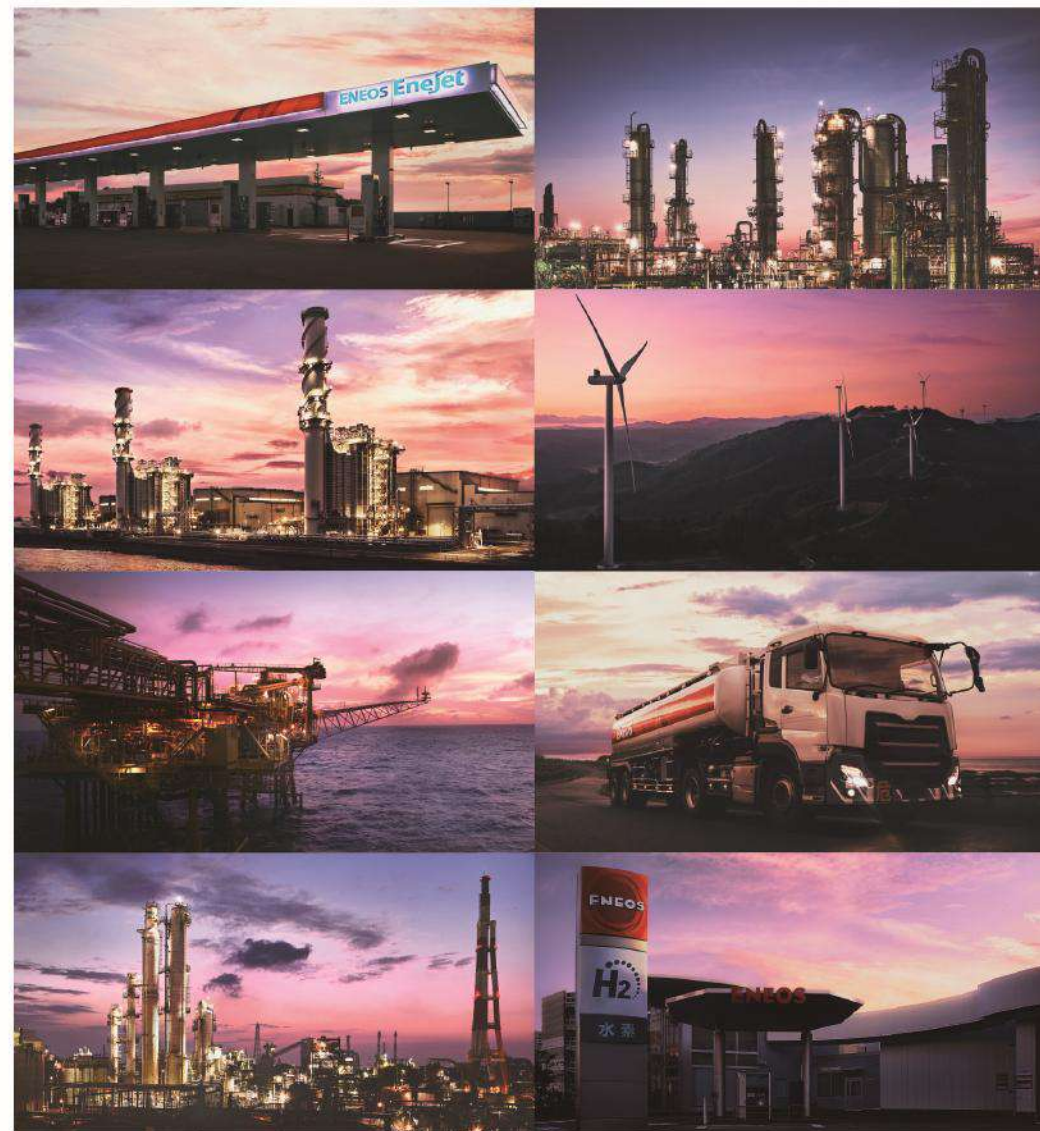
何気ない暮らしを、不断の努力とリーダーシップで支えつづける
変化を楽しみ、多様な人・技術・アイデアの掛け算の発想で、挑みつづける

日々の暮らしの中の、あたり前のような景色。
それらは、「あたり前」にそこにある訳ではない。

「今日のあたり前」の生活があたり前でなかった時代から、
私たち ENEOS グループは常に先駆者として、
その時々の日常に不可欠なエネルギー・素材を
開発し支えることに全力を注いできた。

そして今、脱炭素・循環型社会という、
「明日のあたり前」の実現へ。
そのためには、
次世代のエネルギー・素材・サービスが求められている。

私たちはこれからも先頭に立って挑戦し、
次なるあたり前を創りつづける事で、
常に社会から信頼され、求められる存在でありたい。



ENEOSグループ

ENEOSホールディングス



石油製品ほか、石油・天然ガス開発、機能材、電気、再生可能エネルギーを扱う総合エネルギー企業です。引当の主な事業会社として価値を創出し、ガバナンス強化と戦略リーダーシップでポートフォリオ経営を推進します。



石油製品ほか ENEOS



国内シェアNo.1のサービスステーションネットワークを持つ「ENEOS」ブランドを展開。
石油製品、石油化学製品、潤滑油のほか、SAF・バイオ燃料などをはじめとするエネルギーソリューションに向けた事業を展開しています。

- 石油製品（ガソリン・灯油・潤滑油等）の精製および販売
- ガスの輸入および販売
- 石油化学製品等の製造および販売
- 水素の供給



石油・天然ガス開発 ENEOS Xplora



国内を含む世界各地で石油・天然ガスの開発・生産事業を展開。「探鉱事業」「石油・天然ガスの開発・生産事業」を強化しつつ、CCS/CCUS*を中心とした温室効果ガス削減事業「広義探鉱」としてもう一つの軸とする「二軸経営」を推進しています。

石油・天然ガス

マレーシア、インドネシア、バブアニューギニア等において原油・LNG生産を保有し、日本をはじめアジア各国へ供給

CCS / CCUS

世界最大規模であるPetra Nova CCUSプロジェクト（アメリカ）を推進。この知見を強みに、国内、マレーシアそしてオーストラリア等でのCCS実現に向けた取り組みを加速

*Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage : CO₂の回収・利用・貯留

機能材 ENEOS マテリアル



ENEOSグループにおける素材事業を担う会社として、合成ゴム、エマルジョン製品、高機能性エラストマー及びその機能材等の研究開発、製造、販売を行っています。
エスカルマー事業では60年以上にわたって国内外で各種合成ゴムを供給し、自動車産業をはじめとする各産業の発展に貢献しています。

1957年に誕生した 合成ゴムのパイオニア

合成ゴムの国産化を国内で、需要拡大と広域展開により（日本合成ゴム株式会社）の歴史を受け継ぐ

テクノロジーを支える 高い技術力

S-SBR（溶液重合 装置系タイヤ用の合成ゴム）やリチウムイオン電池用バインダーなど、最先端製品群で幅広いものづくりに貢献



電気 ENEOS Power



発電から小売まで一貫した供給体制をもつ電気事業を中心に、蓄電池を活用したVPP事業、都市ガス事業、海外における再生可能エネルギー事業を展開。
ENEOSグループとして保有する200万kW以上の発電所を主力に電力の安定供給を行うとともに、再エネ電源エネルギーの活用にも積極的に取り組んでいます。

■ 電力販売事業

- ・特別高圧／高圧電気
- ・低圧電気（ENEOSでんき）
- ・電源即売等
- ・（小売電気メニュー：オフサイトPPAサービス）
- ・電力供給

■ 都市ガス販売事業

- ・家庭用向け都市ガス（ENEOS都市ガス）
- ・法人用向け都市ガス

■ 電力需要管理事業

- ・ENEOS太陽光買取サービス



再生可能エネルギー ENEOSリニューアブル・エナジー



太陽光・風力・バイオマスなどの再生可能エネルギーによる発電事業に特化し、全国100カ所以上の発電所を運営・運転。再エネ電源エネルギー事業における専門性と経験・ノウハウを積み重ね、地域の皆さまや電力供給に貢献しながら、脱炭素から長期運営の一貫体制で脱炭素社会の実現をリードします。

■ 太陽光発電

■ 風力発電

■ バイオマス発電

■ 発電所運営

ENEOSリニューアブル・エナジー・マネジメント

■ 再エネ電力小売・トレーディング

ENEOSリニューアブル・エナジー・ソリューションズ

■ 再資源化

エコシステムホールディングス



ENEOSグループについて

石油製品ほか

■ 基盤・素材



・石油製品の精製・販売
ENEOSブランドのサービス
ステーションを全国に展開

国内燃料油¹
販売シェア
約50%



・潤滑油製品の開発・製造・販売
・石油化学製品の製造・販売

海外16カ国
23拠点を展開

■ 低炭素



・バイオ燃料の供給

2028年度以降に
年間40万KLのSAF製造を目指す

■ 脱炭素



・水素・合成燃料等の次世代脱炭素技術の実装に向け
政府や他企業とも連携したバリューチェーンの
早期開発・実装を推進

機能材



▲ 低燃費タイヤ素材

・エラストマー等の高機能素材の製造・販売

環境負荷低減に貢献する
世界トップクラスの技術を誇る製品群

石油・天然ガス開発

■ 石油天然ガス開発



▲ ランドン油田

・石油および天然ガスの開発・生産・販売

原油・天然ガス 権益生産量
9.47万バレル/日
原油換算（2025年度実績）

■ CCS²/CCUS³



▲ Petra Nova CCUS プロジェクト

・CCS/CCUS事業の推進

CCS/CCUSの早期実装
に向けた取り組みを国内外で推進

電気



▲ 五井火力発電所

・発電から小売まで一貫した供給体制をもつ電気事業
を中心に、VPP事業、都市ガス事業、海外事業を展開

発電容量 **220**万kW
(2026年3月末時点)

再生可能エネルギー



▲ うるまメガソーラー

・再生可能エネルギーの開発・発電・販売

電源容量⁴（稼働中+建設中）**143**万kW
(2026年3月末時点)

¹ 国内燃料油：当社グループ（ENEOS+出光興産+コスモエネルギーホールディングス）のガソリン・軽油・灯油販売シェア（2024年度実績）

² CCS：Carbon dioxide Capture and Storage（CO₂の回収・貯留）

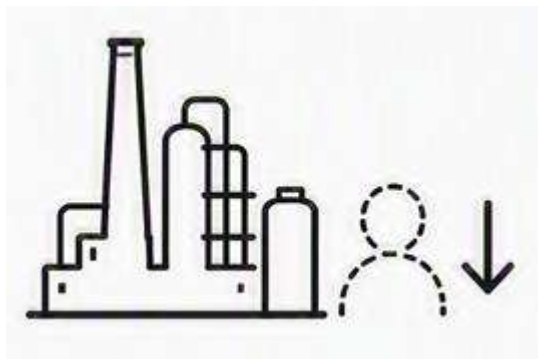
³ CCUS：Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage（CO₂の回収・有効利用・貯留）

⁴ 電源容量：持分ベース

ENEOSグループの課題

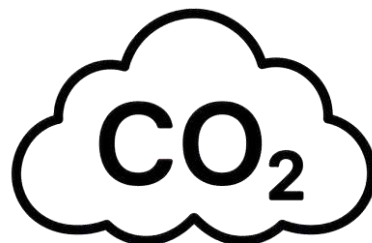
エネルギーインフラ企業として、社会環境変化・技術の変化に対する対応が必要な状況

① 安定操業



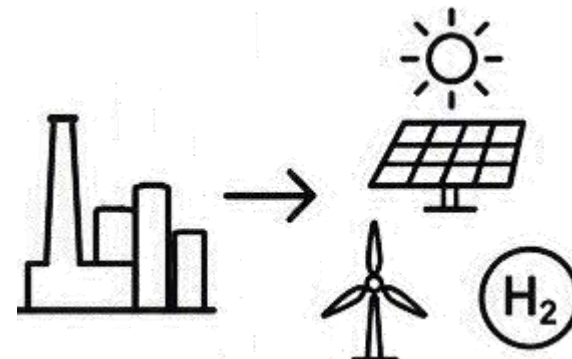
- ・ 製油所の稼働率向上
- ・ 労働者不足への対応

② 低炭素化



- ・ ENEOS由来のCO2排出量
SCOPE1/2:約2,500万t
SCOPE3:約15,900万t

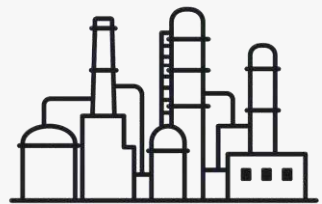
③ エネルギー トランジション対応



- ・ 再生可能エネルギーの台頭
- ・ 水素等の次世代エネルギーの活用
- ・ モビリティエネルギー変化

ENEOSグループの課題解決に向けた探索分野

既存事業の強化 事業の効率化・収益の改善



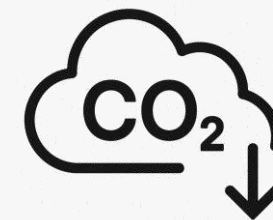
- ・デジタルツイン/最適化
- ・検査・運転ロボット
- ・O&Mの効率化



- ・半導体/ICT分野向け素材
- ・マテリアル・インフォマティクス
- ・バイオマテリアル



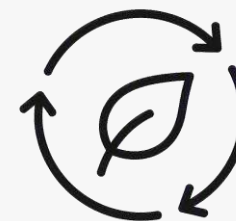
- ・e-フリート・マネジメント
- ・充電技術
- ・SS接点活用



- ・見える化/オフセット/クレジット取引
- ・陸上/海洋ベースソリューション
- ・CCUS / DAC / BECCS



- ・エネルギー・マネジメント
- ・バッテリー/リユースバッテリー/LDES
- ・新規ベースロード電源



- ・サステナブル原料
- ・資源回収・リサイクル



- ・SAF & e-fuel
- ・グリーン/ブルー水素

ENEOSのターゲット事例①



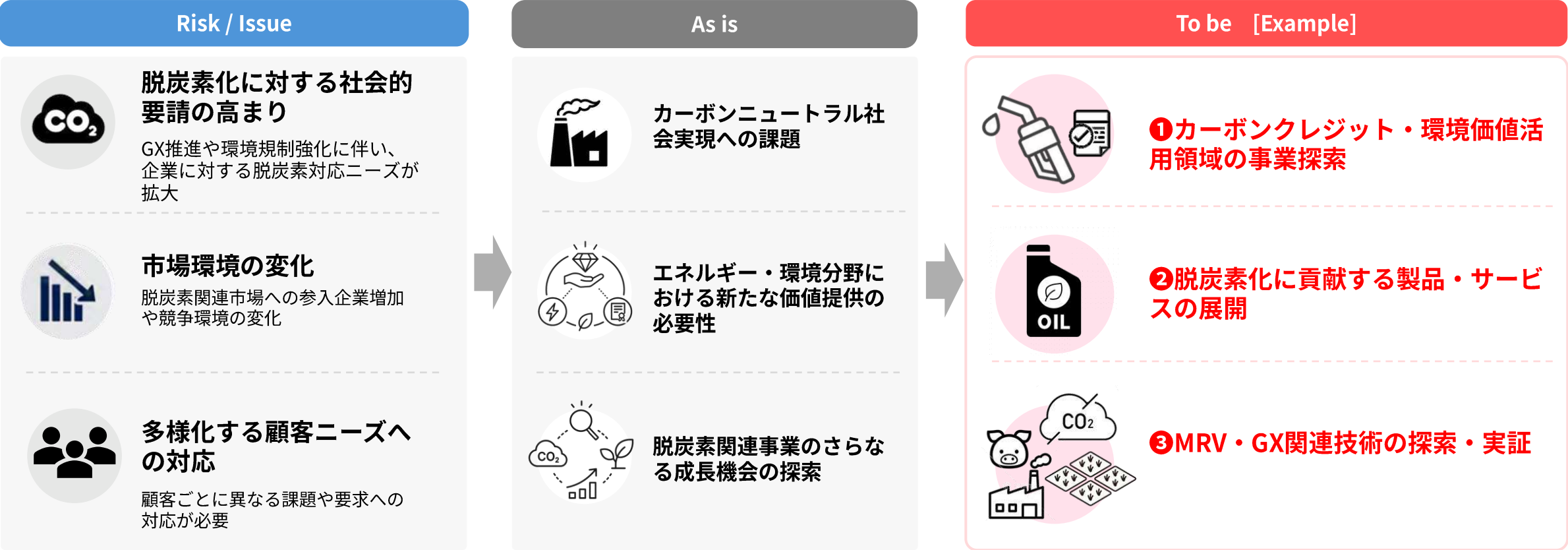
当社アセット（設備・資産・リソース・ネットワークなど）を利活用
交通モードの変革・SDV化を前提とした新たなサービスステーションの在り方の検討



ENEOSのターゲット事例②



カーボンニュートラルへの貢献
当社脱炭素・低炭素商材の拡販検討・環境価値流通の検討



ENEOSのターゲット事例③



当社製造施設に関するオペレーション&メンテナンス(O&M)効率化・環境安全対応
当社製造施設（製油所、発電施設など）のO&M効率化による収益改善、安全性向上

